

超絶技巧！限界を超える衝撃の弦楽器コラボ！

クラシックギター × 二胡 × 馬頭琴 × ヴァイオリン

Mathias Duplessy / Guo Gan / Mandakhjargal Daansuren / Zied Zouari

Duplessy

Classical guitar / Erhu / Morin khuur / Violin

デュプレッシー & ワールド・ストリングス & World Strings



©Thibault de Puyfontaine

主な予定曲目
クレイジー・ホース
カンファー
アストurias(アルベニス)
戦場のメリークリスマス(坂本龍一)
※都合により曲目を一部変更する場合がございます。



特設サイト
CM 動画
公開中

公演日程
2024年

9月27日(金) 開演6:30p.m. (開場6:00p.m.) 東京エレクトロンホール宮城(宮城県民会館)

入場料金:S席 ¥6,000 A席 ¥5,500 (会員料金:S席 ¥5,000 A席 ¥4,500) <税込>

チケットの
お求めは

藤崎 ☎022(261)5111、東京エレクトロンホール宮城 ☎022(225)8641
ローソンチケット <https://l-tike.com/>
ローソン・ミニストップ店頭Loppi [Lコード:21935]
チケットぴあ <https://t.pia.jp/>
セブンイレブン店頭 [Pコード:271-069]

7/27(土)10:00a.m.より
チケット一般発売開始!

当日学生券(大学生・専門学校生以下) ¥2,000

※学生券は当日のみ販売いたします。学生証をご提示下さい。
学生券は数に限りがありますので予めご了承ください。

※小学生未満のお子様(乳幼児)のご入場は国くお断りいたします。
※小学生以上のお子様は入場券が必要です。

主催: MIN-ON 制作協力: ハーモニーフィールズ

お問い合わせ
MIN-ON仙台 ☎022(355)4772



クラシックギター × 二胡 × 馬頭琴 × ヴァイオリン

Duplessy

Mathias Duplessy / Guo Gan / Mandakhjargal Daansuren / Zied Zouari

デュプレッシー & ワールド・ストリングス

& World Strings

デュプレッシー & ワールド・ストリングス

正式なグループの英語名は「Duplessy & The Violins of the World」。ゴビ砂漠、元王朝、フランス王朝と、多様なエッセンスを内包し、それらを超越し完成した音楽を奏でる弦楽バンド。代表曲『クレイジー・ホース』はアメリカのiTunesランキング入りで話題となり、インターネットでの総再生回数は2000万回を超える。現在、世界各国で音楽フェスの出演やツアーを行い、多くのオーディエンスを魅了し続けている。

ジアド・ズアリ
(Zied Zouari)
ヴァイオリン/チュニジア

チュニジアの音楽一家に生まれ、7歳からヴァイオリンを弾き始める。1997年、チュニジアで開催された若手創造芸術家フェスティバルで優勝。99年、レバノンのワディ・アル＝サフィをはじめ、著名なアーティストと共演。アラブ音楽界のインフルエンサー的存在となっている。

マンダフジャルガル・ダーンズレン
(Mandakhjargal Daansuren)
馬頭琴/モンゴル

1992年、モンゴルのドンドゴビ地方に生まれる。ウランバートルの国立音楽院で馬頭琴と喉歌等、フランスのリヨン国立高等音楽院で作曲を、パリ音楽院でコンピューター音楽を学ぶ。現在はモンゴル伝統音楽の普及に努めると共に、ヨーロッパでの演奏活動も行う。

グオ・ガン
(Guo Gan)
二胡/中国

1968年、中国北部・瀋陽の音楽一家に生まれる。87年、瀋陽音楽学院に入学し、二胡の博士号を取得。92年、遼寧省の伝統音楽コンクールで最優秀賞を受賞。2001年にパリに移住し、世界中で演奏活動を行う。

マティアス・デュプレッシー
(Mathias Duplessy)
ギター/フランス

1972年、パリに生まれる。国際的なジャズやワールドミュージックシーンで演奏する傍ら、インドやフランスの映画音楽の作曲にも携わる。これまでに世界中のアーティストと共に、20枚以上のアルバムを制作。

洋の東西を超え、さらなる音楽の“新世界”へ

世界中には数多くの多国籍グループが存在しますが、「デュプレッシー & ワールド・ストリングス」の音楽は瞬時に聴き手の心を掴む力を持っています。全員が弦楽奏者でありながら、一人はギターを爪弾き、他の三人はそれぞれ中国の二胡、モンゴルの馬頭琴、チュニジアのヴァイオリンを弓で演奏する、珍しい編成です。

グループの創設者兼リーダーのマティアス・デュプレッシーは、1972年生まれ、フランスの作曲家であり多楽器奏者で、クラシックギタリストたちに多くの楽曲を提供しています。6歳でギターを弾き始め、10代の頃のアイドルはクラシックではラヴェルであり、ジャズではマイルス・デビスやジョン・コルトレーンでした。18歳からパリのワールドミュージックシーンで著名なアーティストたちと共にステージに立つようになり、ロマのミュージシャンからフラメンコを学び、ギターテクニックを独自のスタイルで発展させました。また世界の伝統音楽にも深い興味を持ち、彼のレコーディングスタジオは、弦楽器や打楽器で壁が見えないほど飾られており、まるで博物館のようです。ステージ裏では黒澤明監督の『七人の侍』のワンシーンを演じるほど、日本文化を愛好しています。

このグループはデュプレッシーが、各国のトップクラスの擦弦楽器奏者をソリストとしてスカウトして結成されました。弓を擦る楽器は「その国の言語を話している様」だといいます。その事に意識を傾けて聴いてみると確かに伸びる音やイントネーションなどは各国の話し言葉を模したサウンドであることに気付きます。そして音楽として各国からの主張があり、共演は対話が見事に絡み合っています。

音楽の世界会議に参加しているという新感覚で楽しんでいただきたいと願っています。

文：小巖仰（音楽プロデューサー）